

第6回ナリコー カップ

成田市少年野球 友遊ボール大会

大会要項および大会特別規則

1. 主催

株式会社ナリコー

2. 大会趣旨

本大会は、近年減少傾向にある少年野球人口の底辺拡大を図るために、多くの低学年（主に小学3年生以下）と保護者の参加を得て、少年野球に結び付くボールゲームの楽しさを親子で理解して頂くために実施する大会である。

チーム参加の選手に、代打者、代理走者あるいは1アウトの守備だけでも体験ができるように配慮の程お願いします。

3. 出場チーム資格

成田市および近隣の少年野球連盟所属チーム選手（3年生以下）とその家族（未就学の弟、妹）、または選手の友人（3年生以下）を含めてもよい。

連盟所属チーム同士の合同チームでの参加も認める。

（選手人数が16名以上になる場合は、極力2チーム結成で参加をお願いします。
なおメダル数は、15個までしか用意できません。）

4. 大会運営等

大会日程：令和8年10月4日（※予備日、10月10日）

大会会場：公津スポーツ広場南北（4面を予定）

運営協力：成田市少年野球連盟所属チームおよび審判部

大会運営：

- ・開会式；8時30分より公津SP南

（各参加チーム6台までお願いします。）

- ・表彰式：決勝戦終了後ベスト4進出チームにより行う

表彰は優勝、準優勝および3位（2チーム）とし、優勝チームには優勝カップ（持ち回り）と各チーム選手にはメダルが贈呈される。

また個人賞（最優秀選手賞、優秀選手賞、敢闘賞2名、最優秀保護者賞）に楯を贈呈する。

- ・大会会場の設営は、連盟役員、審判部員、参加チームの協力者にて行う。

- ・本大会は、予選リーグ戦＋各組勝者による決勝トーナメント戦で行う。

5. 大会特別規則

- ・試合は1試合30分の5回戦で勝敗を決定する。タイムゲームとし30分を超えたら新しいイニングに入らず、その時点（均等回）での得点をもって勝敗を決定する。得点差のコールドゲームは、3回均等回以降15点、4回以降10点差以上とする。試合が5回均等回終了後または試合時間が30分（均等回終了）経過し、同点の場

- 合は、特別延長戦（1アウト満塁から）行う。第1打者を4番打者からとし、1イニングを行い得点の多いチームを勝者とする。1イニングで勝者が決定しない場合は、決定するまで前記と同様に継続（3アウト終了の次打者から）させ勝者を決める。
- ・リエントリーを先発選手につき1回まで認める。（1度ゲームを退いても、再度ゲームに参加が可能、大人も同様）
 - ・打者は、片手あるいは両手でもバットを持って打撃することができる。
 - ・打者が一巡した場合には、守備チーム側に給水タイムを設ける。
 - ・頭上より上の投球を、バットを立てるようにしての打撃は禁止（千葉県規則の通り）
 - ・バッターボックスを記載することとし、打者はバッターボックス内から打撃をおこなう。
（※バッターボックス内で走るような助走をしての打撃は禁止とする。）
 - ・各塁へのスライディングは禁止とする。
（※2塁と3塁では、安全に止まれず走り抜けてしまった場合でも、ボールより早く触塁していればセーフとする。ただしオーバーラン等次の塁を狙う姿勢があった際に、その塁へ送球あるいは触塁されればアウト）
 - ・ランナーが複数人いる場合は、先行走者が基準となる。
 - ・占有権のある先行走者がいる場合と、フライ（ライナー）の場合は、帰塁義務走者はみなしラインを越えていても、その手前の塁へ戻ることができる。
 - ・その他不明な点があれば、試合前に相手チーム、審判と相談してとりきめる。
 - ・※予選リーグ戦で、勝率が同率のチームが複数ある場合は、1イニング表裏（0アウト打者1番から）を行い、決勝トーナメント出場チームを決定する。
 - ・審判は、各チームの帯同審判にて行う。
 - ・上記を除く試合上必要な規則は、『千葉県少年野球友遊ボール大会規則』（2025年2月25日改定）に準ずる。

以上
令和8年9月21日現在
成田市少年野球連盟